

ジョエル・ロブション エグゼクティブシェフ 関谷 健一郎が初監修 ANA 国際線ファーストクラスの機内食 羽田発～欧米着路線 2025年9月1日(月)～11月30日(日)まで

株式会社フォーシーズ(東京都港区南青山 代表取締役会長兼CEO:浅野 幸子)が運営するフレンチレストラン「ジョエル・ロブション」は全日本空輸株式会社(本社:東京都港区 代表取締役社長:井上 慎一、以下「ANA」)の「国際線ファーストクラス」(羽田発～欧米着 路線)限定でガストロノミー“ジョエル・ロブション”のエグゼクティブシェフ(総料理長)の関谷 健一郎が監修する機内食を2025年9月1日(月)から11月30日(日)の期間提供することをお知らせします。



- 18年連続で三つ星の最高評価を獲得するガストロノミー“ジョエル・ロブション”のエグゼクティブシェフ(総料理長)を務める関谷 健一郎は日本人として初めてフランス国家最優秀職人章(M.O.F.)の受章を果たしています。
- 2024年12月よりANA発の*「THE CONNOISSEURS」のメンバーに参画し、機内で愉める至福の体験として、「ジョエル・ロブション」の味をお届けできるよう機内食を初監修いたしました。

*「THE CONNOISSEURS(ザ・コノシユアーズ)」とは

「その道を極めた目利き・匠」をあらわすことば。国内外の著名シェフおよびお酒のプロフェッショナルに加え、ANAシェフチームで構成されるメンバーが、ANA国際線(日本発)のお食事・お飲み物(一部)をプロデュースしています。
引用元: ANA SKY WEB(<https://www.ana.co.jp/>)

《関谷 健一郎 コメント》

空の旅だからこそ感じられる非日常のひとときをジョエル・ロブションのエスプリとともにお届けします。機内でも本格的な味わいをお楽しみいただけるよう心を込めて監修いたしました。お召し上がりいただいた皆様の旅の記憶に残る体験になれば幸いです。

《展開概要》

提供期間: 2025年9月1日～11月30日

対象クラス: 国際線ファーストクラス 洋食コース

提供路線: 日本発～欧米着 路線

※ニューヨーク線、シカゴ線、サンフランシスコ線、ロンドン線、ホノルル線計9便

詳細URL: <https://www.ana.co.jp/ja/jp/guide/inflight/service/international/connoisseurs/>

《ジョエル・ロブション エグゼクティブシェフ 関谷 健一郎 監修メニュー》

- ・半熟卵とスモークサーモンのゼリー寄せにキャビアをあしらって
- ・丹波黒どりの胸肉とフォアグラのプレッセ ポワローヴィネグレットと共に
- ・ボタン海老のタルタルと焼き茄子のデュオ 香り高いオマール海老のオイルをアクセントに
- ・しっとり蒸しあげた金目鯛をヴァンジョーヌを効かせたオマルディーンソースで
- ・和牛フィレ肉のソテー ジャガイモと茸のガトー仕立てにハーブのサラダを添えて

《関谷 健一郎 プロフィール》

1979年千葉県生まれ

専門学校卒業後、ホテルでの経験を経て、2002年に渡仏

2006年 パリにあるラトリエ ドゥ ジョエル・ロブションに勤務

弱冠26歳の若さでロブション氏の推挙によりスーシェフに抜擢

2010年 東京・六本木のラトリエ ドゥ ジョエル・ロブションのシェフ着任

2018年11月 「第52回 <ル・テタンジェ>国際料理賞コンクール インターナショナル(パリ)」優勝

2021年11月 ガストロノミー“ジョエル・ロブション”のエグゼクティブシェフ(総料理長)に就任

2023年6月 日本人初 料理部門 M.O.F.(フランス国家最優秀職人章)受章

2024年7月 フランス農事功労章 シュヴァリエ受章

2025年1月 『東京観光大使』就任

関谷 健一郎 Instagram : https://www.instagram.com/chef_ken_ichiro/

《フレンチレストラン「ジョエル・ロブション」とは》

ジョエル・ロブションの芸術的かつ独創的な料理は世界的美食家から「皿の上の芸術」とも讃えられ、その技法、「料理は愛」という料理哲学は世界中の『ジョエル・ロブション』へ受け継がれている。日本では、東京・六本木に世界で初となるカウスタイルのフレンチレストラン「ラトリエ ドゥ ジョエル・ロブション」や恵比寿ガーデンプレイス内に位置する「シャトーレストラン ジョエル・ロブション」をはじめ、現在はレストラン・カフェ・パティスリー・ブランジュリー・バーなど全12店舗を展開。



公式HP <https://www.robuchon.jp/>

ガストロノミー “ジョエル・ロブション”内観